

選考基準

出願資格を満たし、かつ下記①～④の選考基準をすべて満たした学生を対象に、奨学委員会が総合的な判定を行い、採否を決定します。

※採用枠には限りがあるため、出願者が多い場合は選考基準を満たした者であっても不採用となる場合があります。

① 学力基準

修士・博士前期課程：大学・大学院における成績が特に優れ、将来、研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動することができると認められること

博士後期課程：大学・大学院における成績が特に優れ、将来、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度な専門的業務に従事するに必要な高度の研究能力を備えて活動することができると認められること

種別 課程		日学第一種 日学第一種と第二種の併用	日学第二種のみ
修士 前期	1年次	大学学部の成績 評定平均値2.0以上	大学院における修学に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められる者
	2年次	修士・博士前期課程1年次の成績 評定平均値2.0以上	
博士 後期	1年次	修士・博士前期課程の成績 評定平均値2.0以上	
	2・3年次	博士後期課程前年次までの成績 評定平均値2.0以上	

評定平均値の求め方：評定平均値 = $\frac{\text{評定値の合計}}{\text{修得単位数の合計}}$ (小数点第2以下四捨五入 GPAとは異なる)

評定値 = 評価別の点数 × 評価別の修得単位数 (評価別に評定値を算出)

	成績評価別の点数		
3段階評価	優・A=3	良・B=2	可・C=1
4段階評価	S・A・B=3	C=2	D=1

評定値の算出基礎となる科目は、卒業要件の対象となる科目とします。

*教職等資格科目、随意科目、認定科目を除く

■評定平均値の算出例：学部で34講義登録し(修得単位数は計124単位)、そのうち「優」が25個(4単位=22科目、2単位=3科目)、「良」が6個(4単位=6科目)、「可」が3個(2単位=3科目)だった場合
 $\{(3 \times 4 \text{単位} \times 22 \text{科目}) + (3 \times 2 \text{単位} \times 3 \text{科目}) + (2 \times 4 \text{単位} \times 6 \text{科目}) + (1 \times 2 \text{単位} \times 3 \text{科目})\} \div 124 \text{単位} = 2.7$

② 家計基準

出願者本人の総収入金額(配偶者がある場合は、配偶者の定職収入を含む)が、日本学生支援機構奨学金の家計基準額以内であるかどうかで判断します。

(別冊『奨学金を希望する皆さんへ』の「第3部 募集要項等(3)-2 家計基準」を参照してください。)

③ 人物基準

大学・大学院の学生生活における行動の全般を通じて、意志が固く、責任感が強く、中正妥当な性格で特に研究心が旺盛であること。

④ 健康基準

在学中の修学に支障がないと認められること。